5月12日の本会議で4つの特別委員会の各委員長から、この1年間の審査経過概要について報告がありました（要約掲載）。詳しい内容は、市議会ホームページ「会議録検索」や行政資料コーナー（市役所本館1階）で閲覧できます。

市街地整備促進 特別委員会

JR高槻駅南地区の再整備について、JR高槻駅南地区市街地再開発準備組合が設立され、事業化検討パートナーの募集を開始し、令和6年12月にJR西日本不動産開発株式会社グループを候補者として決定され、令和7年度からは事業計画素案の作成に着手される、との報告を受けている。また、富田地区の公共施設再構築のさらなる取組に関して、豊富な歴史・文化などを最大限に生かし、本市西部の都市拠点としてふさわしいまちづくりを進めることが重要であるため、地区全体を俯瞰した公共施設の再編・最適化等を検討するこ

とで、さらなる活性化に

新名神・交通体系等対策 特別委員会

委員から、まちづくりの考え方について質問がありました。次に、環状幹線道路等の整備促進について、富田奈佐原線については、JRアングラー部の整備促進に向け、今後も引き続き大阪府に要望していく、との報告があり、委員から、JRアングラー部の整備促進について改めて関係各所や大阪府との連携強化を図り、早期の改善に取り組んでほしい、との要望がありました。

史跡整備・活用等 特別委員会

委員から、まちづくりの考え方について質問がありました。次に、歴史遺産を活用したまちづくりについては、芥川城跡の適切な保存・活用にに向けて計画の策定を進めており、今後の予定として、引き続き芥川城跡の活用と魅力発信に努めていく、との報告がありました。

地方分権推進 特別委員会

では、里帰りされた妊産婦からの相談に応じ市町村間での情報共有を図り、適切に支援を行っている、との報告があり、委員から、本市への事務・権限移譲に関する諸課題に対する取組について質問がありました。次に、広域行政推進に係る諸課題について、消防行政に係る広域連携の取組として、高槻市島本町消防指令センターの運用を、令和7年10月から開始する予定である、との報告がありました。

と、富田地区の公共施設再構築のさらなる取組に関して、豊富な歴史・文化などを最大限に生かし、本市西部の都市拠点としてふさわしいまちづくりを進めることが重要であるため、地区全体を俯瞰した公共施設の再編・最適化等を検討するこ

とで、さらなる活性化に

高槻城公園等の整備について、主な経過として、令和6年2月に地元自治会などへの事業説明を行い、7月からは民間活力導入に向けたサウンディング調査を実施した。公園整備については、令和8年度末に一次開園を予定しており、民間店舗についても、一次開園と同時にオープンできるよ

地方分権改革の推進に向けた取組について、第14次地方分権一括法での法改正等により本市に影響がある事項として、母子保健法の改正は、妊産婦の健康診査等に関する情報連携について、里帰り出産で住民登録が可能な場合にも連携

議 会 日 誌

5月 7日	議会運営委員会
12日	本会議第1日 議会運営委員会
13日	議会運営委員会
14日	議会運営委員会 本会議第2日 議会だより編集委員会